

# 後援会だより



11月3日に行われた桜蓮祭 (よさこいサークル)

## C O N T E N T S

- ごあいさつ ..... 2
- 第11回桜蓮祭 ..... 4
- ふれあい実習、オープンキャンパス ..... 6
- 進路状況、法人化について、マルチ商法にご用心 ..... 7
- 学生との意見交換会、看護研究交流センター、  
後援会の主な事業など ..... 8



## うれしい報せと新しい発展を!

新潟県立看護大学

学長 渡 邊 隆

上越の秋が深まるころ、とてもうれしい報せが、舞い込んできました。それは、“「冷静に」AED救命 — 2新人看護師へ感謝状」という新聞記事でした。二人の新人看護師が、JR川崎駅で倒れた男性を自動体外式除細動器（AED）での電気ショックと心臓マッサージを行ない一命をとりとめたというものでした。

その二人の看護師は、私たちの大学の卒業生、渡辺麻雅さんと石塚美沙希さんでした。かけつけた消防署の方たちからも「完璧な措置」と絶賛されたとのこと。たしかに、看護師なのだからうまくやるのが当たり前なのですが、実際にその場に遭遇したら、そううまくいくものではないでしょう!ましてや、専門職者であればなおのこと。「焦りながらも冷静に自信を持ってやった」とご本人たちの弁。実にあっぱれですね。

実は、この報せ、二人の看護師が勤める横浜市の病院の方たちから、わざわざ、大学に報せてくれたのです。二人が表彰された時の写真と新聞記事をつけて送って下さったのです。卒業生のすばらしい行動もそうですが、それを報せて下さった病院の方々にも、感謝しました。おそらく彼女ら二人は、とてもよい環境の病院で看護師として日々充実した勤務をしていることが安易に想像でき、心が温まる思いでした。こうした優秀な学生が、私たちの看護大学から育っていることと私たちの卒業生をしっかり受け入れてくれるところがあることに大いに感激しました。この春には、また、優秀な卒業生を送り出します。

さて、この4月に公立大学法人新潟県立看護大学として、新たに法人という組織で運営が行なわれます。法人化によって、県からの運営費交付金をうけ、その内で、教育と研究を行なっていく経営を大学が行なっていくことになるのです。例えていえば、親元から通っていた若者が、親元を離れ、自ら独立して生活をしていくことに似ています。大学も一定の財的支援をうけ、自主的に活動し、社会の一員として成長していくのです。

これまでと違う新たな大学づくりも考えています。学外との人事交流や国際的な視点からの看護・福祉の教育・研究を展開していきたいと思っています。私たちの大学の学生、教職員は、その新たな可能性を受けとり、それを伸ばせる能力をもっている集団であると確信しております。

どうか保護者の皆様には、本学の新しい発展のため、これまでも増して、ご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。



## 旅立ちの言葉

新潟県立看護大学看護学部看護学科 卒業生代表 石田 慎也

今年も例年通りの豪雪に見舞われ、残寒の日々が続いている三月ではありますが、徐々に春の訪れも感じられる頃になりました。高田公園の桜が開花する日が近づくとともに、私たち新潟県立看護大学看護学部看護学科八期生93名は、卒業の日を迎えました。

今までの日々を振り返ると、様々な思い出がありました。特に印象に残っているのが、四年間全体を通して何度もあった実習です。初めて看護学生として患者さんと接した時には、何を話してよいか、どう関わっていけばよいか、援助の時に失敗しないかと、何度も不安になることがありました。しかし、患者様の笑顔が私たちの励みになり、実習に臨むことができました。その中で私たちを支えてくれたのは、仲間であり、サポートしてくださった諸先生方であり、そして、臨床指導者の皆様や病院関係者の皆様です。皆様から頂いたご指導のおかげで、私たちは技術面だけでなく、一人の人間として成長することができたと思っています。

春から私たちはそれぞれの道を進むこととなります。これからは今まで以上の困難が待ち受けていることと思います。しかし、そのような時は、大学生活で友人たちと得た思い出や諸先生方から頂いたお言葉を励みにし、更なる成長を目指したいと思います。また、これから私たちは、大学で学んだ知識や経験をもとに、日々精進していきたいと思っています。

最後に、卒業まで私たちを支えてくださった先生方、病院関係者の皆様、何より家族に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

## 25年度【年間カレンダー】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式・後援会総会(4月8日)	前期授業開始(4月11日) 1年次生学外オリエンテーション(4月12日～13日) ガイダンス(4月4日～10日)			夏季休業(8月1日～31日)		後期授業開始(10月1日)	大学祭「桜蓮祭」(11月2日)	冬季休業(12月24日～1月4日)			春季休業(3月17日～31日) 卒業式(3月14日)



# Student Activities On The Campus!!



## 第11回

# 桜蓮祭

平成24年11月3日



## Smile With You ~君と地域と新たな一歩~

### Interview 「桜蓮祭を終えて」

#### 2年生 実行委員長



昨年は桜蓮祭10周年を迎え、多くの方々にご来場いただきました。今年度は新たな歴史を踏み出す大切な年として位置づけ、「Smile with you~君と地域と新たな一歩~」をテーマに開催しました。毎年行っているハカレンジャー(健康測定)に加え、災害看護サークルの新たな企画が加わり、来場者の方々に大変ご好評いただきました。今後も看護らしい企画で桜蓮祭を盛り上げていけるよう、学生一同で創意工夫していきます。来年度の桜蓮祭にもぜひご期待ください。

#### 2年生 実行委員



今年の桜蓮祭は天候にあまり恵まれませんでした。桜蓮祭当日の学内は生徒たちの活気で溢れていました。「君と地域と新たな一歩」というテーマのように、大学祭を通じて生徒と地域の方々との間に多くの繋がりが生まれたのではないかと思います。一年生の頃と違い、今年は私たち二年生が主体となって桜蓮祭を運営しましたが、準備期間中は忙しくも充実した日々を送ることができました。来年も後輩たちが桜蓮祭を盛り上げてくれることを期待しています。

#### 1年生 実行委員



今回、この第11回「桜蓮祭」を運営、また一実行委員として運営にあたり、初めてではありましたが、成功した面、また反省点も含め、多くの点で学ばせていただきました。今年度のスローガン「Smile with you」のもとに計画された企画の数々。単科大学という点もあり、あまり大規模にはできない環境ではありますが、盛り上がりは私を含め、多くの方々を魅せてくれたと思います。ご協力していただいた地域の方々、本当にありがとうございました。

少しでも学生たちの活動を見てみましょう!



DANCE LIVE 2012



災害支援物品の展示



保育園児の絵の展示



とん汁屋さん! ☆



災害看護



よさこい演舞



# ふれあい実習

## ふれあい実習について

ふれあい実習コーディネーター代表 中野 正春

ふれあい実習の目標は、住民一人ひとりの健康や福祉に主体的に関わる専門職業人としての自覚を早くから学生に持ってもらうため、地域で暮らす人々の個々の日常生活の一つに健康があるのだということの人々との交流の中で理解することです。1年生の後期の必修授業となっており、以前は新潟県内の市町村で行っていましたが、この5年間は上越市の山間部の4地区で分散して行っております。

内容は2泊3日の実習と1週間後の現地での発表交流会という形になっております。実習の内容もできるだけ地域の人々と触れ合えるような内容で行っております。初日の地域探索では、ただ自然や家並を観察するというよりも、直接お宅を訪ねて地域での生活についてお話をお聞きしています。その日は3~4人に分かれて民泊し、民泊先の農作業などの手伝いをして現地の生活を実感します。翌日には現地の食材を使った料理を作ったり、さらに高齢者のみのお宅を訪問して暮らしぶり



をうかがったりして宿泊施設に泊まります。最終日には老人会に参加したり老健施設を訪問したりして出し物を出して地域の人々と一緒に楽しんで交流を深めております。1週間後には再び現地を訪れて民泊先の方々などに対して現地で学んだ成果を発表します。その他に大学祭などで成果の展示を行います。



## ふれあい実習を終えて 1年

私たちの班は安塚区で実習を行いました。自然豊かな安塚区では、農業の存在が大きく、自分で作った農作物で自給自足している家庭が沢山ありました。その一方、深刻な問題もありました。安塚区は人口の40%が高齢者である為、大雪の際には高齢者が雪かきをする家庭も少なくありません。また、訪問医療の体制も少なく、病院へ行くことが困難な高齢者もいます。しかし、地域で車を乗り合わせるなど、助け合って暮らしていました。

今回の実習を通して、地域医療の重要性など、様々なことを学ぶことができました。将来医療に携わる者として、今後自分にできることを考え、勉強・演習に励みたいと思います。今回の実習にご協力・ご指導してくださった皆様に深く感謝申し上げます。

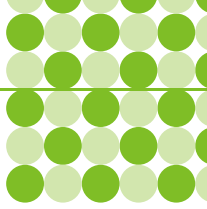


## オープンキャンパス

平成24年8月1日、24日にオープンキャンパスを開催し、大学の説明や体験授業、学長室訪問、在学生との懇談、施設見学などを行いました。

2日間で延べ347名の高校生や保護者の方に参加していただき、盛況裏に終えることができました。

参加者からは、「学校についてたくさん知ることが出来てよかった。ますます新潟県立看護大学に入学したくなった。」「全体を通してとても満足しています。学長のお話は本当に心に響きました。そして体験の時に先生や生徒さんと交流をしてとても楽しく、温かいところだと思いました。今日の体験は私にとってとても良いものになりました。」などの感想をいただきました。



## 平成24年度卒業生 進路状況 (平成25年3月15日現在)

### ●男女別進路状況

単位:人

	県内就職	県外就職	進学	その他	計
女子	46	32	5	1	84
男子	5	4			9
計	51	36	5	1	93

### ●出身地別進路状況

単位:人

就職・進学先	出身地	看護師	保健師	助産師	進学	その他	計
県内	県内出身	38	3	3	1	2	47
	県外出身	5	1		1		7
県外	県内出身	14			2		16
	県外出身	15	6	1	1		23
計		72	10	4	5	2	93

### ●都道府県別就職状況

単位:人

就職先	県内出身者	県外出身者	計
新潟県	45	6	51
神奈川県	5	1	6
群馬県		2	2
埼玉県		1	1
東京都	7	5	12
千葉県	2		2
富山県		2	2
長野県		7	7
福島県		2	2
石川県		1	1
大阪府		1	1
計	59	28	87

## 4月1日から公立大学法人新潟県立看護大学となります



この度の法人化に伴い、大学の設置者が、「新潟県」から「公立大学法人」へ変更となります。

本学では、大学全入時代を迎え、看護系大学の設立が相次ぎ、今では全国に約200校ある状況を踏まえた中で、学生の満足度、地域に対する貢献度を高め、厳しい競争に打ち勝つため、法人化することにいたしました。

これにより、大学は県の地域機関としての制約が外れ、教員人事や予算執行等で大学の意志決定のスピード化が図られ、また自律的、弾力的な大学運営や、特色ある取り組みなどについて、大学の責任で進めることが可能となります。

ちなみに、初代理事長兼学長には、法人化前の新潟県立看護大学長の渡邊隆が就任します。

## マルチ商法の被害を防ぐための心得「5か条」

- 《1》身近な人からの勧誘でも毅然と断る!
- 《2》容易に甘い言葉を信じて契約しない!
- 《3》事業者への投資の勧誘を容易に信じない!
- 《4》身近な人の様子に不審点があれば相談にのる!
- 《5》困ったら早めに消費生活センターにご相談を!



最寄りの相談窓口: 上越市消費生活センター ☎025-525-1905

## 学生との意見交換会を開催しました

平成24年12月18日(火) 1~4年生等の学生32名と学長始め看護学部長の他、大学運営に携わる各運営委員会委員長などが参加しました。

10月上旬に実施した、学生生活実態調査の結果をもとに、学生の時間の使い方や健康状態、大学への要望について意見交換を行いました。

学年担任からは、例年、1年後期から専門科目が増える2年にかけて成績が低迷する傾向がみられる。また、バイトに関しては十分時間配分を考えて行ってほしいなどアドバイスがありました。

大学への要望については、実習期間中は夜間まで記録をまとめているので、売店を設置してほしいなどの意見が出されました。



## 看護研究交流センター

本学では、大学と地域の交流の場として看護研究交流センターを併設しています。

本センターでは、本学の建学の精神である「ゆうゆう・くらしづくり」に基づき、本学の教育・研究の成果を地域へ還元することを目的としています。また、地域と大学が共に成長していくための橋渡しのための役割を担っています。

今年度も公開講座や研究発表会等本学の持つ資源を地域へ還元する様々な事業を用意しております。事業内容を随時本センターホームページでお知らせしていきますので、どうぞご覧ください。

看護研究交流センターホームページURL <http://www.nirin.jp/>

看護研究交流センター

検索

【申込先】新潟県立看護大学 看護研究交流センター（新潟県立看護大学内）

TEL&FAX 025-526-2822

E-mail [nirin@niigata-cn.ac.jp](mailto:nirin@niigata-cn.ac.jp) 〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地

### 後援会の主な事業

#### ◆ 会員相互及び大学との連携

総会を年1回、入学式当日に行い、毎年度の事業計画を決定します。  
年2回、「後援会だより」を発行し、学内での学生活動などを紹介しています。

#### ◆ 学生自主活動推進事業

学生が自主的に運営している自治会、桜連祭(大学祭)、継燈式、球技大会への助成を行います。

#### ◆ 学生教育振興事業

1年次に購入する実習衣、実習に伴う雑費を補助します。

#### ◆ 学生福祉増進事業

学生食堂の受託経営者及び自動販売機設置業者に対し、光熱水費を補助することにより、食事及び清涼飲料水等を低価格で学生に提供しています。  
学外オリエンテーションの費用の一部を補助します。

## お知らせ

**平成25年度  
新潟県立看護大学  
後援会総会**

平成25年4月8日(月)  
入学式終了後  
11:30~12:10  
本学ホール